

令和2年度 第1回適正就学対策審議会次第

日時 令和3年2月11日(木)午前10時～

場所 和泉市コミュニティセンター1階 大集会室

1. 開会

2. 会長及び副会長の選任

3. 諮問

4. 議事

5. 閉会

(参考資料)

資料1 諮問の背景

資料2 富秋中学校校区 校区図

資料3 本審議会での議論をお願いする内容

資料4 富秋中学校校区における児童生徒数、学級数の状況

資料5 富秋中学校校区に施設一体型義務教育学校を設置する効果

資料6 学校の沿革

資料7 通学について

資料8 これまでの地域との調整経過

資料9 アンケート調査結果について

資料10 葛の葉町の就学区域について

資料11 跡地利用について

富秋中学校区 和泉市適正就学対策審議会委員名簿

	委 嘱 区 分		氏 名
第2項 1号	市議会議員	厚生文教委員会委員長	末下 広幸
第2項 1号		厚生文教委員会副委員長	友田 博文
第2項 2号	学識経験者	大学教授	冷水 啓子
第2項 3号	住民団体の代表者	町会連合会会長	宮本 英昭
第2項 4号	和泉市立小学校、中学校及び 義務教育学校の校長	小学校長会代表	上野 泰久
第2項 4号		中学校長会代表	藤本 善則
第2項 5号	和泉市立小学校、中学校及び 義務教育学校に在籍する 児童、生徒の保護者	和泉市PTA協議会代表 (信太中学校PTA会長)	大吉 浩靖
第2項 6号	公募による市民	公募委員	—
第3項 1号	臨時委員	地元選出議員 (富秋中学校区)	吉川 茂樹
第3項 1号	臨時委員	地元選出議員 (信太小学校区、葛の葉町関係)	松田 義人
第3項 1号	臨時委員	地元選出議員 (信太小学校区、葛の葉町関係)	スペル デルフィン
第3項 1号	臨時委員	町会連合会幸校区代表	向井 光男
第3項 1号	臨時委員	町会連合会池上校区代表	桃田 千代彦
第3項 1号	臨時委員	葛の葉町会代表	池田 成就
第3項 1号	臨時委員	幸小学校PTA代表	吉本 智恵
第3項 1号	臨時委員	池上小学校PTA代表	瀧 妙子
第3項 1号	臨時委員	富秋中学校PTA代表	伊藤 卓志
第3項 1号	臨時委員	信太小学校PTA代表 (葛の葉町在住)	笠松 大記
第3項 2号	臨時委員	富秋中学校区等まちづくり検 討会議代表	森 尚樹

※公募委員については、令和2年9月8日～10月2日まで募集しましたが、応募者がいなかったため、欠員となっています。



和泉学教第 2986 号
令和 3 年 2 月 11 日

和泉市適正就学対策審議会会長様

和泉市教育委員会

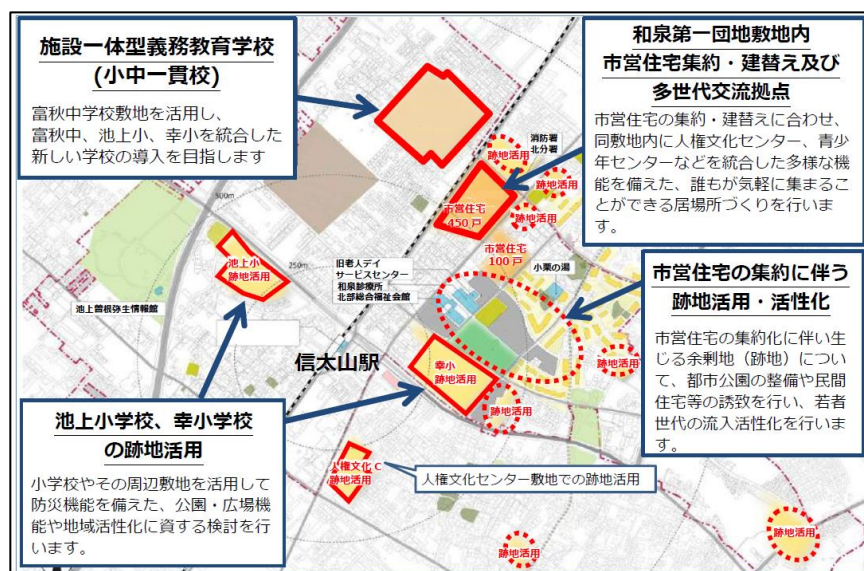
和泉市適正就学対策審議会規則第2条の規定に基づき、下記の2点について諮問いたします。

記

1. 幸小学校、池上小学校、富秋中学校を統合し、現富秋中学校を敷地とした新設の施設一体型義務教育学校(小中一貫校)とすることについて
2. 上記新設の施設一体型義務教育学校(小中一貫校)の就学区域について

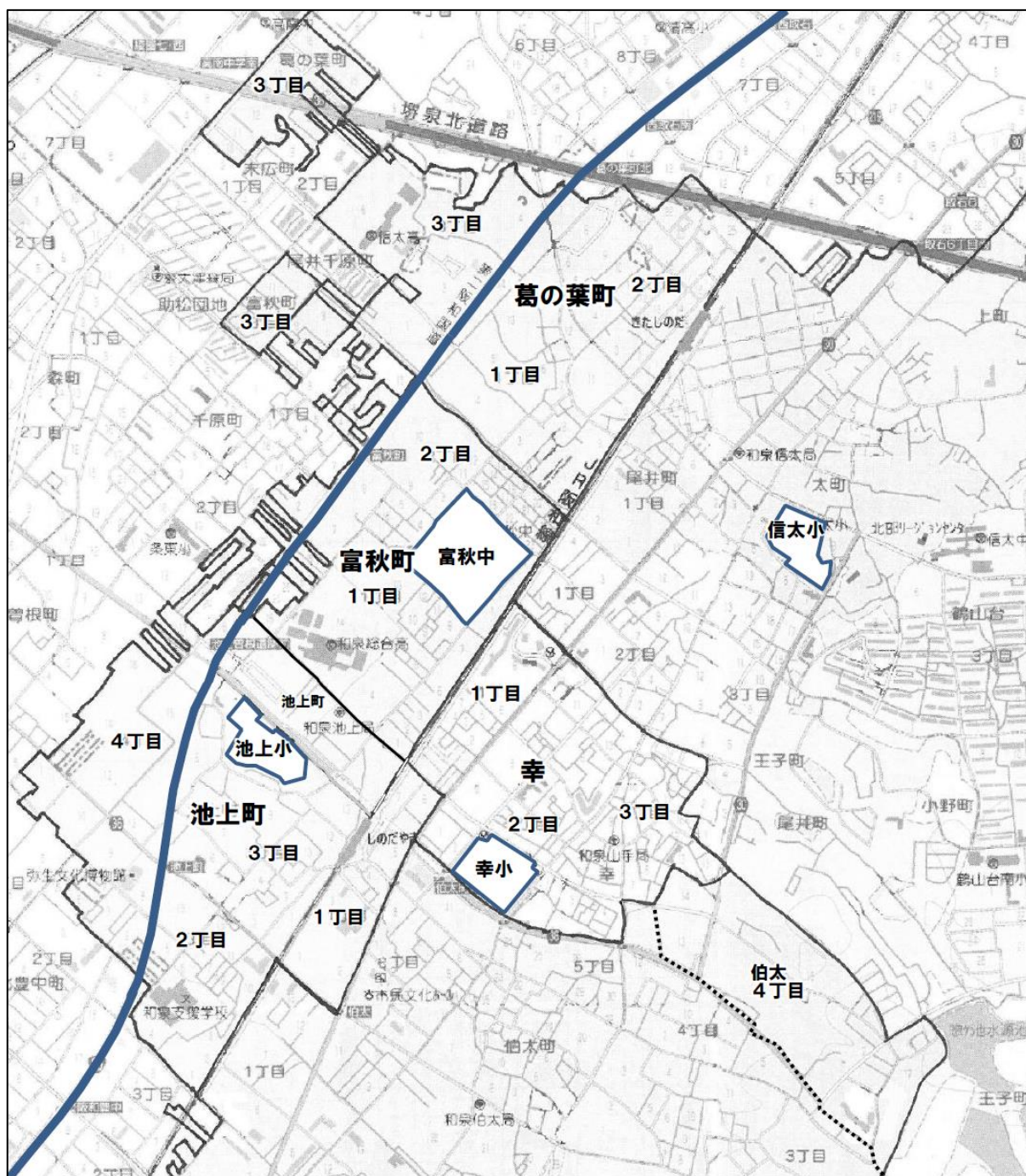
資料1 諮問の背景について

- 1) 和泉市では、平成 29 年度より全ての中学校区で小中一貫教育を本格実施
平成 29 年 4 月には、和泉市初の施設一体型義務教育学校(小中一貫校)として、
南松尾はつが野学園が開校。
- 2) 富秋中学校区では、小学校、中学校ともに各学年が1～2 学級で、施設一体型義務教育
学校の導入により、系統的な教育の実施、多様な意見にふれる機会の確保などが期待
される。また、一部校舎が築 50 年を超過し、その他の校舎も築 40 年を超過しており、
耐震化は完了しているが、建替えを視野にいれてもおかしくはない時期。
- 3) 平成 30 年 2 月より、地域住民の方などが主体となり、「富秋中学校区等まちづくり検討
会議」を設立。学校や市営住宅をはじめ、老朽化した公共施設の再編や生じた跡地の活
用について検討を行い、地域案をとりまとめた。
- 4) 令和 2 年 3 月に地域案を尊重した上で「富秋中学校等まちづくり構想」を策定し、小中一貫
校をめざし、教育環境の向上を図るとともに、他の事業と連携することで、若者世代の流入、
地域の活性化を図ることについて位置づけた。

富秋中学校等まちづくり構想
今後の地区整備計画を一部加工

- 5) 令和2年7月より富秋中学校区各校のPTA代表、町会代表などによる「ミライの学校を創るプロジェクト」を発足し、富秋中学校区における施設一体型義務教育学校の整備に向けて求められること、必要なことについて意見交換を行うとともに、地域説明会、アンケート調査を実施し、施設一体型義務教育学校の導入に向けた期待・要望が確認されたことから、審議会へ諮問を行うもの。

資料2 富秋中学校区 校区図



就学区域

池上小学校	池上町(阪和線以東の区域を除く)、池上町一丁目、池上町二丁目、池上町三丁目、池上町四丁目、富秋町一丁目、富秋町二丁目、富秋町三丁目
幸小学校	幸一丁目、幸二丁目、幸三丁目、伯太町(都市計画道路池上下宮線以北の区域) 伯太町四丁目(都市計画道路池上下宮線以北の区域)、池上町(阪和線以東の区域)
富秋中学校	幸小学校及び池上小学校に就学すべき区域、葛の葉町一丁目、葛の葉町二丁目、葛の葉町三丁目

※新しい施設一体型義務教育学校の就学区域は、富秋中学校の就学区域を基本に検討

資料3 本審議会で議論をお願いする内容について

● 和泉市適正就学対策審議会規則 第2条

審議会は、和泉市教育委員会の諮問に応じ、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校児童、生徒の就学の適正をはかるために、次に掲げる事項について調査及び審議する。

- (1) 就学区域の再編成に関すること。
- (2) その他適正就学に関すること。

● 審議会で方向性の答申が必要な内容

- (1) 富秋中学校の敷地を活用し、施設一体型義務教育学校を導入することについて
- (2) その就学区域は、現状の富秋中学校の就学区域とすることについて
- (3) 小学校は信太小学校、中学校は富秋中学校(申出により信太中学校を選択可能)としている葛の葉町の就学区域について

● 審議において、答申が求められる内容ではないが、答申に際し重要な要素となり、確認、議論が必要な内容(附帯意見とすることは可能)

- (1) 新設する施設一体型義務教育学校での教育内容について
- (2) 通学に関することについて
- (3) 学校跡地利用について など

資料4 富秋中学校区における児童生徒数、学級数の状況について

● 昭和60年

児童・生徒数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	富秋中				総計
								中1	中2	中3	小計	
幸小	34	20	52	44	38	57	245	213	184	182	579	1356
池上小	78	80	94	76	100	104	532					
計	112	100	146	120	138	161	777					

学級数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	富秋中				総計
								中1	中2	中3	小計	
幸小	1	1	2	2	2	2	10	6	6	6	18	43
池上小	2	2	3	2	3	3	15					
計	3	3	5	4	5	5	25					

● 平成20年

児童・生徒数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	富秋中				総計
								中1	中2	中3	小計	
幸小	54	42	48	43	45	43	275	101	112	89	302	924
池上小	61	57	62	54	58	55	347					
計	115	99	110	97	103	98	622					

学級数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	富秋中				総計
								中1	中2	中3	小計	
幸小	2	2	2	2	2	2	12	3	4	3	10	34
池上小	2	2	2	2	2	2	12					
計	4	4	4	4	4	4	24					

● 令和2年

児童・生徒数

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	小計	富秋中				総計
								中 1	中 2	中 3	小計	
幸小	14	18	18	16	11	27	104	44	39	70	153	455
池上小	21	32	41	33	33	38	198					
計	35	50	59	49	44	65	302					

学級数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	富秋中				総計
								中1	中2	中3	小計	
幸小	1	1	1	1	1	1	6	2	2	2	6	18
池上小	1	1	1	1	1	1	6					
計	2	2	2	2	2	2	12					

(参考)

R2 池上小・富秋中の就学区で他の学校へ通学している児童生徒数

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	小計	中 1	中 2	中 3	小計	総計
葛の葉町 1丁目								4	4	2	10	10
葛の葉町 2丁目								18	16	11	45	45
葛の葉町 3丁目								21	11	15	47	47
池上町 4丁目	4	5	5	3	6	3	26	3	7	8	18	44
富秋町 3丁目	2	3	1	1	8	5	20	7	4	2	13	33
計	6	8	6	4	14	8	46	53	42	38	133	179

※葛の葉町1丁目から3丁目の小学校区は信太小学校であり、葛の葉三丁目については、行政協定により、泉大津市の小中学校へ就学が可能

※池上町4丁目、富秋町3丁目については、小学校区が池上小学校、中学校区が富秋中学校であるが、行政協定により、泉大津市の小中学校へ就学が可能

● 令和9年(見込)

児童・生徒数

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	小計	富秋中				総計
								中 1	中 2	中 3	小計	
幸小	20	22	19	20	19	27	127	58	35	50	143	482
池上小	38	44	38	34	29	29	212					
計	58	66	57	54	48	56	339					

学級数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	小計	総計
施設一体型 義務教育 学校	2	2	2	2	2	2	12	2	1	2	5	17

(参考)

R9 選択制により上記以外の児童生徒で、新しい施設一体型義務教育学校に通学可能な
児童生徒数見込み

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	小計	中 1	中 2	中 3	小計	総計
葛の葉町 1 丁目	7	10	9	3	4	10	43	2	2	4	8	51
葛の葉町 2 丁目	18	28	12	16	20	15	109	13	15	16	44	153
葛の葉町 3 丁目	11	11	8	14	14	11	69	11	14	18	43	112
池上町 4 丁目	4	2	4	7	5	3	25	6	4	5	15	40
富秋町 3 丁目	6	8	7	4	1	4	30	3	2	3	8	38
計	46	59	40	44	44	43	276	35	37	46	118	394

資料5 富秋中学校区に施設一体型義務教育学校を設置する効果

(1)施設一体型の特色を活かした取組み

- ・小中教員による9年間の育み
 - 系統的な教育課程による学習指導
 - 小中教員によるきめ細やかな生活・生徒指導
 - 各家庭とのつながりの深まり
 - 中学校教員による小学校段階からの一部教科担任制
- ・小学校段階からの部活動参加
 - 運動・文化にふれる機会や学校生活の充実
 - 上級生の自己有用感の育成
- ・異学年交流の充実
 - 図書館での上級生による読み聞かせや合同での給食や掃除など
 - 多様な関わりの中で社会性や協調性などを育成
- ・児童・生徒による主体的な学校風土の醸成
 - 下級生への見本となる上級生としての意識醸成
 - 児童・生徒自身による課題解決
 - 児童会・生徒会の一体化によるたて割り行事や委員会活動の充実

(2)南松尾はつが野学園 PTA 役員の声

(良さを感じる点)

- ・人数が増えて、色々な同じ年の子とふれ合えるようになり、友だちも増えた。
- ・たてわり活動が充実しており、低学年が高学年に抱くあこがれや高学年の低学年への思いやりが育っている。
- ・中1ギャップがない。
- ・前期課程から部活動に参加できるのが良い。
- ・後期課程の先生が関わってくれる。上の学年に上がった時の不安がない。
- ・前期課程の先生が後期課程の授業をのぞいてくれるのも良い。
- ・小中の子どもがいる場合、参観など1回で済むので負担がへった。

(デメリットを感じる点)

- ・9年間同じ環境にいたので、後期課程(中学生)としての意識面が弱いと感じる。
- ・テストの時など、後期課程に気をつかって過ごすこともある。

(3) 富秋中学校区における新たな展開

1. 小学校段階では、児童数が増加。遠足、運動会など学校行事に広がり。
2. まちづくり事業と連携した取り組みを進めることにより、若者世代の流入による児童生徒数の確保。
3. 新しい取り組みだけでなく、既存の有意義な取り組みも継承。
4. 校区の広がりを活かした「地域とともにある学校」をめざし、これまで以上に地域全体で子ども達を見守り、育む学校へ。
 - コミュニティスクールとして、児童生徒の育みに向けた取組みや活動を地域とともに行う学校
 - 日頃から地域と児童生徒が結びつき、地域の子どもを地域全体で育てる拠点としての学校

資料6 学校の沿革

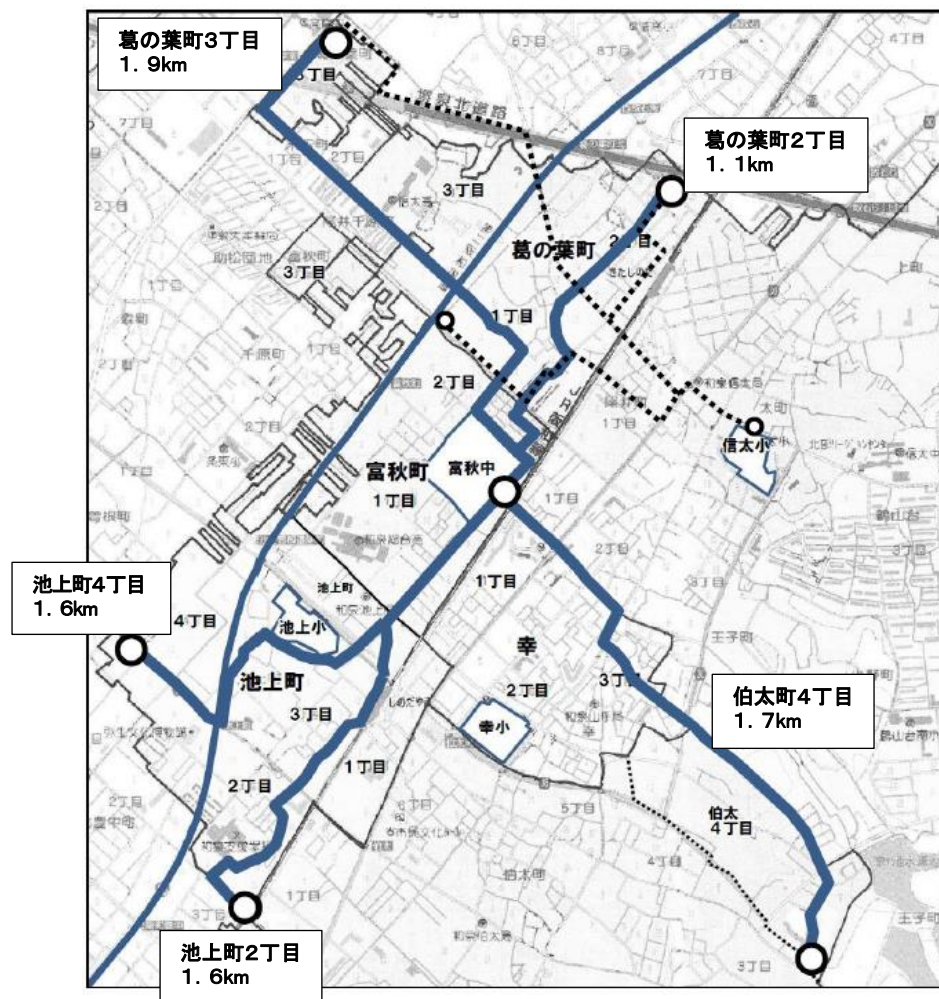
● 学校の沿革

	沿革	敷地面積
幸小	明治 6 年 南王子村西教寺を借り受け、第 97 番小学校として開校 昭和 35 年 幸小学校と改称	20,375 m ²
池上小	昭和 55 年 池上町千草池の埋立地に伯太小学校区の池上町と 信太小学校区の富秋町在住の児童を合わせ、 池上小学校として開校	17,958 m ²
富秋中	昭和 51 年 山手中学校区の幸、和泉中学校区の池上町、 信太中学校区の富秋町及び葛の葉町を校区として、 富秋中学校を開校	41,511 m ²

(参考)南松尾はつが野学園 33,451 m²

資料7 通学について

通学距離が2kmを超過しないため、徒歩通学を想定



※各町の最も遠い地点と富秋中学校の校門までの距離

(参考) 信太小との距離
葛の葉町1丁目 1.2km
葛の葉町2丁目 1.1km
葛の葉町3丁目 1.9km

【これまでの通学に関する主な意見】

- ・低学年の通学に対策が必要
- ・通学路が狭く、朝は高校生の自転車や車の量も多く危険に感じる
- ・信号のない交差点や歩道がない道路が多い
- ・線路の横断が不安



対応案

例) 線路の横断対策の検討、グリーンベルトやカラー舗装の工夫、ラバーポール等による歩道確保、既存防犯カメラの移設、道路標識の整理 等

資料8 これまでの地域との調整経過

(1) 令和元年度までの経過

- ・富秋中学校区等まちづくり検討会議を 14 回開催
- ・子育て教育部会を 11 回開催
- ・地域説明会を 3 回開催
- 令和2年3月に富秋中学校区等まちづくり構想を策定し、
施設一体型義務教育学校(小中一貫校)の導入をめざすことを整理

(2) 令和2年度以降の取組み状況

- ・ニュースレターを作成し、保護者への配布、地域への回覧を行い、取組状況の周知を実施
- ・PTA、町会、まちづくり検討会議メンバー代表等で組織する
「ミライの学校を創るプロジェクト」を創設し、3 回の意見交換を実施
→ 施設一体型義務教育学校(小中一貫校)の導入に向けた手続き等確認
- ・地域全体説明会を開催(32 名参加)
- ・富秋中学校区等まちづくり構想の地域における進行管理組織となる
まちづくり検討会議を 3 回開催
→ 「ミライの学校を創るプロジェクト」での取組み、説明会での状況等を確認
- ・保護者アンケートを実施し、地域保護者の意見を集約

まちづくり構想策定過程での意見交換会・説明会の状況

	開催日	対象
1	H30. 2. 10	第1回富秋中学校区等まちづくり検討会議
2	H30. 3. 3	第1回住民ワークショップ
3	H30. 3. 14	第2回富秋中学校区等まちづくり検討会議
4	H30. 4. 9	第3回富秋中学校区等まちづくり検討会議
5	H30. 4. 15	第2回住民ワークショップ
6	H30. 4. 23	第4回富秋中学校区等まちづくり検討会議
7	H30. 5. 22	第1回子育て・教育部会
8	H30. 6. 19	第2回子育て・教育部会
9	H30. 7. 21	第3回子育て・教育部会(南松尾はつが野学園視察)
10	H30. 8. 21	第4回子育て・教育部会
11	H30. 9. 18	第5回子育て・教育部会
12	H30. 10. 16	第6回子育て・教育部会
13	H30. 10. 31	第5回富秋中学校区等まちづくり検討会議
14	H30. 11. 6	さいわいこども園報告会
15	H30. 11. 12	和泉チャイルド幼稚園報告会
16	H30. 11. 13	池上わかばこども園報告会
17	H30. 11. 18	地域説明会(情報提供会)
18	H30. 12. 18	第7回子育て・教育部会
19	H31. 1. 16	第8回子育て・教育部会
20	H31. 1. 24	第6回富秋中学校区等まちづくり検討会議
21	H31. 2. 19	第9回子育て・教育部会
22	H31. 3. 19	第10回子育て・教育部会
23	H31. 3. 28	第7回富秋中学校区等まちづくり検討会議
24	H31. 4. 21	地域説明会(情報提供会)
25	H31. 4. 24	第11回子育て・教育部会(終了)
26	R1. 6. 13	第8回富秋中学校区等まちづくり検討会議
27	R1. 9. 30	第9回富秋中学校区等まちづくり検討会議
28	R1. 10. 23	第10回富秋中学校区等まちづくり検討会議
29	R1. 11. 28	第11回富秋中学校区等まちづくり検討会議
30	R1. 12. 21	地域説明会(まちづくり構想として)
31	R2. 1. 23	第12回富秋中学校区等まちづくり検討会議
32	R2. 1. 26	第13回富秋中学校区等まちづくり検討会議(市長へ提出)
33	R2. 2. 4	第14回富秋中学校区等まちづくり検討会議(策定終了)
参考	R2. 2. 16	地域説明会(市(政策企画)まちづくり構想として)

まちづくり構想策定後の取組み

	開催日	対象
1	R2. 6	まちづくり構想策定に伴う小中一貫校検討取組みの周知チラシ配布
2	R2. 6. 7	葛の葉4町会状況説明
3	R2. 6. 29	第1回富秋中学校区等まちづくり検討会議
4	R2. 7. 11	第1回ミライの学校を創るプロジェクト
5	R2. 8. 1	第2回ミライの学校を創るプロジェクト
6	R2. 8. 21	第2回富秋中学校区等まちづくり検討会議
7	R2. 9	第3回ミライの学校を創るプロジェクト(書面開催)
8	R2. 9. 20	葛の葉4町会状況説明
9	R2. 10. 3	地域全体説明会
10	R2. 10	幸小学校区、池上小学校区保護者アンケート実施
11	R2. 10. 20	第3回富秋中学校区等まちづくり検討会議
12	R2. 10. 23	池上町会説明会
13	R2. 11	葛の葉町就学前保護者アンケート調査
14	R2. 12. 3	第4回ミライの学校を創るプロジェクト
15	R2. 12. 20	葛の葉4町会状況説明

その他、信太小学校、信太中学校PTA等、個別訪問、説明対応も実施

○意見交換会・説明会等での主な意見

（肯定的な意見）

- ・人数が多くて個性がたくさんあるほうが楽しいし、人間形成にとっても大きい。
- ・子どもにとって異なる価値観を知り、融合していく機会というのは良い勉強。
- ・和泉市のモデルとなるような、みんなが夢を持てるような学校をめざしたい。
- ・小学生と中学生が常に一緒に当たり前という環境になり、中学生にとって良い影響がでる可能性
- ・中学生に責任を持たせることで成長する機会になるなど、やり方によっては、子ども達がしっかりと成長できる学校づくりも可能ではないか。
- ・中学校を卒業するときにより良い状態で卒業し、将来大人になって地域に帰ってきてくれるなど、地域にとっても良い影響ができれば良い。
- ・この校区は今が変われるチャンスであり、これから子ども達が誇れる学校をつくるため、今回をきっかけに地域・行政・学校・保護者・地域全員で考えてメリットをつくれれば良い。
- ・地域のイメージは悪いかもしれないが、良いところや良い子もたくさんいるので、そういった面を見てもらえるような方向性をつくっていく必要がある。
- ・新しい学校をどういう学校にしたいか、前向きな議論をしていきたい。
- ・学校教育の中身や子どもたちをどうしていくかなど、学校に魂をいれていくのは地域であり、どんな学校にしていくか議論していくことが必要。
- ・地域の声として富秋中学校が良くなっているという声を聞くようになってきている。
- ・葛の葉町からも通学したいと思ってもらえるような魅力のある学校を創っていく必要がある。
- ・どこの学校にも負けない特色をつくっていきたい。
- ・みんなが夢を持てるような学校づくりをしたい。

（否定的な意見）

- ・施設一体型の小中一貫校の必要性について具体的なことが分かりづらい。
- ・小学校低学年の通学に対して不安がある。
- ・上級生からの悪影響が心配。
- ・通学路が変わって、高校生からの影響が心配。
- ・入学式と卒業式がはっきりしなくなるのではないか。
- ・安全面の確保、交通ルールの向上が最優先。
- ・子どもが増えることにより、騒音が増えることへの懸念がある。
- ・教育での魅力づくりの内容がわからない。
- ・小中一貫校になることによって学力の低下につながるのではないか。
- ・ハード面を整えても、教育水準の低い学校に通わせたい親はいない。レベルの高い教育環境が必要。
- ・少人数で1人1人をみてる今の学校のままで良い

資料9 アンケート調査結果について

○対象

幸小学校区、池上小学校区の0歳から中学生までの子どものいる保護者

○実施期間

発送日 令和2年10月5日

回答期限 令和2年10月23日

○アンケートの内容

施設一体型の小中一貫校の導入について

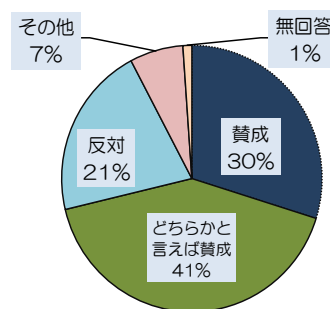
1. 賛成
2. どちらかと言えば賛成(意見はあるが、一定理解できる)
3. 反対
4. その他

○回答状況(令和2年10月26日現在)

	送付数	返送数	回収率
幸小学校区	198	47	24%
池上小学校区	406	125	31%
不明	-	9	-
合計	604	181	30%

○回答状況(全体)

	件数	割合	件数	割合
賛成	54	30%	129	71%
どちらかと言えば賛成	75	41%		
反対	38	21%	38	21%
その他	12	7%	12	7%
無回答	2	1%	2	1%
合計	181	100%	181	100%



○回答状況(校區別)

【幸校区】

	件数	割合	件数	割合
賛成	18	38%	39	83%
どちらかと言えば賛成	21	45%		
反対	2	4%	2	4%
その他	6	13%	6	13%
合計	47	100%	47	100%

A pie chart representing the survey results for Sachi District. The chart is divided into four segments: a dark blue segment for '賛成' (38%), a green segment for 'どちらかと言えば賛成' (45%), a light blue segment for '反対' (4%), and a pink segment for 'その他' (13%). Each segment is labeled with its category and percentage.

【池上校区】

	件数	割合	件数	割合
賛成	32	26%	84	68%
どちらかと言えば賛成	52	42%		
反対	34	27%	34	27%
その他	6	5%	6	5%
合計	124	100%	124	100%

A pie chart representing the survey results for Ikiga District. The chart is divided into four segments: a dark blue segment for '賛成' (26%), a green segment for 'どちらかと言えば賛成' (42%), a light blue segment for '反対' (27%), and a pink segment for 'その他' (5%). Each segment is labeled with its category and percentage.

○回答状況(子どもの年齢別)

【就学前の子どものいる世帯】



【小学生の子どものいる世帯】



【中学生の子どものみの世帯】



○肯定的な意見

- ・子どもが安心して学校生活を楽しめるような、小中一貫校を期待している
- ・子どもを育てやすい町に生まれかわってほしい
- ・地域の魅力を向上させて子育てしやすい環境を整え若い世代の流入を図り、まちづくりを活性化させてほしい
- ・和泉市には、先頭をきって子どもの未来が輝くまちとして発展してほしい。おのずとファミリー層が集まって、まちも活性化すると思う
- ・たくさん子どもたちと触れ合う中で、お互いを認め合い助け合う心が生まれると思うし、夢を持ち、自分の可能性を信じていろんなことにチャレンジしていける子どもたちが増えていくことを願っている
- ・9年間一緒に過ごすことで一生涯の友人ができるのではないかな
- ・生徒数が少なく、社会性を身に付ける上では、もっとたくさんの人との交流があればと感じることがあるので、これを機により良い環境づくりができることを期待している
- ・小1と中3の子が一緒になる不安もあるが、良い方向に向かってほしい
- ・英会話やプログラミングなどの授業に期待している
- ・池上と幸の学力の差が平等になるのは良いことだと思う
- ・中学校のイメージアップや学力向上につながれば良い
- ・少子化が目に見えて分かる中、小中一貫校を導入することは、賛成で早急に実現してほしい
- ・少子化の影響で校区によっての人数差が広がりそうなので、多々課題もあると思うが、導入に向けて頑張ってもらいたい
- ・新しい校舎になることが魅力的
- ・早く小中一貫校になってほしい
- ・小学校の跡地を是非すばらしいものにしてほしい

○否定的な意見

- ・通学が遠距離になる子どももいる。低学年の通学や丸笠団地からの通学に対策が必要
- ・通学路が狭く、朝は高校生の自転車や車の量も多く危険に感じる
- ・信号のない交差点や歩道がない道路が多いことや、踏切の横断もあるため不安
- ・不審者の情報も多く、治安に不安がある
- ・中学生と小学生が一緒になって悪影響がでないか心配（イジメや悪い部分をまねするなど）
- ・小学校同士の統合であるならわかるが、中学校はいらないのではないか
- ・富秋中学校に良い評判をきかない
- ・人数が増えて子どもに目が届かなくなるのではないか
- ・今でもトラブルの解決に時間がかかるため、小中が一緒になるとさらに解決に時間がかかる
- ・跡地の防災機能について建物ではなく、広場という点に不安がある
- ・小学校がなくなるのが寂しい
- ・今のままで良い

○その他の意見

- ・居場所作りは大事であるが、治安は守ってほしい
- ・馴染みのある先生は、そのまま小中一貫校に移ってほしい
- ・導入時は、職員を充実させてほしい
- ・障がい児の子も通えるクラス、専門的な療育知識のある先生を配置してほしい
- ・いじめなどがあった場合、同じ顔ぶれで9年間はとても苦痛だと思うので、適切なフォローができる環境と人材の準備が必要
- ・小規模校のきめ細かい目配りなどのメリットもあったため、今までの良いところも残してほしい
- ・新校舎建設時には、騒音や子どもや地域の安全を第一に考えてほしい
- ・学校の跡地については、地域住民が仲良く交流できる場にしてほしい
- ・跡地には、商業施設（スーパーなど）がほしい
- ・跡地にスケートボードやBMXなどのストリートスポーツができる施設ができれば良い
- ・跡地については、住宅街と公園（防災機能を備えた）がほしい

資料10 葛の葉町の就学区域について

(1)現在の就学区域について

小学校は信太小学校、中学校は、富秋中学校であるが、申し出により信太中学校を選択可能。

(2)就学区域の変遷

○富秋中学校は、昭和 51 年 4 月開校

(開校の背景)

- ・和泉中と信太中のマンモス化の解消
- ・山手中の小規模校化の解消 など

	昭和 50 年時点
伯太小	1,361 人
信太小	1,284 人
和泉中	1,408 人
信太中	1,029 人

	昭和 50 年時点
幸小	464 人
山手中	190 人

当時の就学区域

	小学校		中学校	
	従前	－	従前	変更後
池上町	伯太小	変更なし	和泉中	富秋中
富秋町	信太小	変更なし	信太中	富秋中
葛の葉町	信太小	変更なし	信太中	富秋中
幸	幸小	変更なし	山手中	富秋中

この時点では、幸小学校の児童は、全て富秋中学校へ進学。

伯太小、信太小児童のうち、池上町、富秋町、葛の葉町の児童は、他の町の児童が進学する和泉中、信太中ではなく、富秋中へ進学することとなる。

○池上小学校が昭和 55 年 4 月に開校

当時の就学区域

	小学校		中学校	
	従前	変更後	従前	—
池上町	伯太小	池上小	富秋中	変更なし
富秋町	信太小	池上小	富秋中	変更なし
葛の葉町	信太小	変更なし	富秋中	変更なし
幸	幸小	変更なし	富秋中	変更なし

- ・池上町と富秋町について、それぞれ伯太小学校区、信太小学校区から池上小学校区に変更となる。
- ・幸小学校の児童は、全て富秋中学校へ進学。
- ・池上小児童は全員、富秋中学校へ就学することとなるが、
信太小学校の児童は、葛の葉町の児童が富秋中学校に進学し、他の町の児童は信太中学校へ進学

○平成 11 年

国府小学校及び黒鳥小学校区の再編成にあたり、他の校区でも就学区域のあり方を整理が必要として、次の2校区について、適正就学対策審議会にて、検討することとなる。

- ・光明台南小学校、光明台北小学校について
児童数の割合が「1:3」とアンバランス
光明台南小学校に隣接する地区に児童が多く、遠くの光明台北小学校に通学している。
- ・葛の葉町の児童について
信太小学校に通学する葛の葉町の児童だけが、信太中学校ではなく富秋中学校に就学人数も少ないので、小学校を単位として、信太中学校に通学することはできないか。

○平成 13 年

→検討の結果、平成 14 年度より両者とも保護者の申請により選択制を認めることとなった。

○葛の葉町における選択制を決定した背景

- ・葛の葉町は、信太中学校より富秋中学校の方が近く、今は富秋中学校の就学区域
- ・葛の葉町の意向は、他の信太小学校児童と同じ信太中学校に通学したい。
- ・現時点で、就学区域について、富秋中学校、信太中学校の議論に踏み込むのではなく、地域の意向に配慮した調整区域（選択制）とすることが妥当。

(3) アンケート結果

○対象 葛の葉町の就学前の子どものいる保護者

○実施期間 (発送日) 令和2年10月26日 (回答期限) 令和2年11月10日

○アンケートの内容

・富秋中学校の敷地に施設一体型の小中一貫校が導入された場合の通学について

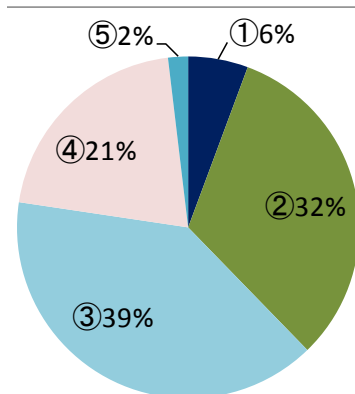
1. 是非、新しい施設一体型の小中一貫校に通学させたい。
2. 教育内容に魅力があれば、新しい施設一体型の小中一貫校への通学を検討したい。
3. 信太小学校、信太中学校(葛の葉三丁目の方は、泉大津市の小中学校)に通学させたい。
4. 現時点では、わからない
5. その他

○回答状況(令和2年11月11日現在)

	送付数	返送数	回収率
葛の葉1丁目	35	9	26%
葛の葉2丁目	82	25	30%
葛の葉3丁目	57	17	30%
不明	-	2	-
合計	174	53	31%

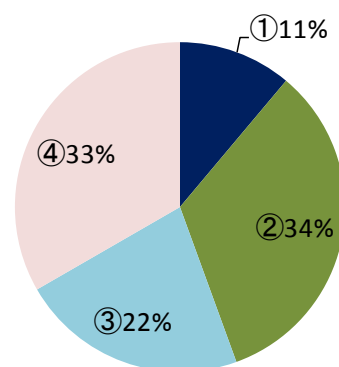
【全体集計】

	件数	割合	件数	割合
①是非新しい施設一体型の 小中一貫校に通学させたい	3	6%	20	38%
②教育内容に魅力があれば、通学を 検討したい	17	32%		
③信太小学校・信太中学校に 通学させたい (葛の葉三丁目の方は、泉大津市の 小中学校)	21	39%	21	39%
④現時点ではわからない	11	21%	11	21%
⑤その他	1	2%	1	2%
合計	53	100%	53	100%



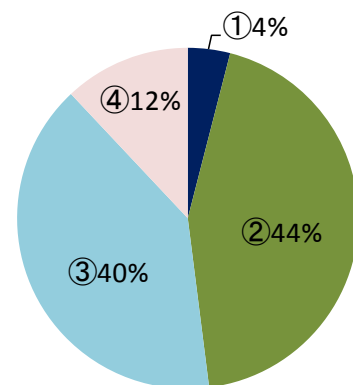
【葛の葉町1丁目】

	件数	割合	件数	割合
①是非新しい施設一体型の 小中一貫校に通学させたい	1	11%	4	45%
②教育内容に魅力があれば、通学を検討したい	3	34%		
③信太小学校・信太中学校に通学させたい (葛の葉三丁目の方は、泉大津市の小中学校)	2	22%	2	22%
④現時点ではわからない	3	33%	3	33%
⑤その他	0	0%	0	0%
合計	9	100%	9	100%



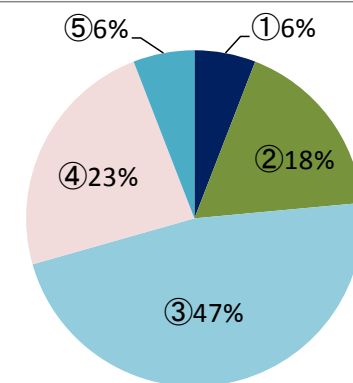
【葛の葉2丁目】

	件数	割合	件数	割合
①是非新しい施設一体型の 小中一貫校に通学させたい	1	4%	12	48%
②教育内容に魅力があれば、通学を検討したい	11	44%		
③信太小学校・信太中学校に通学させたい (葛の葉三丁目の方は、泉大津市の小中学校)	10	40%	10	40%
④現時点ではわからない	3	12%	3	12%
⑤その他	0	0%	0	0%
合計	25	100%	25	100%



【葛の葉町3丁目】(国道26号より海側)

	件数	割合	件数	割合
①是非新しい施設一体型の 小中一貫校に通学させたい	1	6%	4	24%
②教育内容に魅力があれば、通学を検討したい	3	18%		
③信太小学校・信太中学校に通学させたい (葛の葉三丁目の方は、泉大津市の小中学校)	8	47%	8	47%
④現時点ではわからない	4	23%	4	23%
⑤その他	1	6%	1	6%
合計	17	100%	17	100%



○主な意見

(肯定的な意見)

- ・魅力があれば是非行かせたいと思う。子どもたちは信太小学校に通学しているため、開校時の環境の変化や状況を見ながら、子どもたちの意見を聞き決めることになると思う。教育環境が良くなることを期待している
- ・途中からでも小中一貫校に通学できるようにしてほしい

(否定的な意見)

- ・葛の葉町に引越してきたのは、泉大津の学校を選択できるためであり、小中一貫校ができて、泉大津の学校に通学させたい
- ・友達が近くにいるので、信太中か私立への進学を考えている
- ・いじめ、非行、その他の教育上の問題が複雑化している今、中学生と関わることで親が過剰に心配してしまうような気がしてならない

(その他の意見)

- ・新しい学校か信太小・中の選択制にしてほしい
- ・開校と同時に1年生の年齢であれば通学させたいが、転校となると難しいと思う。(教育内容によっては考える。)
- ・小中一貫校になることで子どもにとってのメリット・デメリットを詳しく知りたい。(通学のことや、クラス数が増えることで、クラス替えや交流がどのようになるのか。)
- ・きれいな校舎になるのは良いと思いますが、小中になることで子どものいじめなど上級生に対して、下級生に対してなど教育をしっかりして頂きたい
- ・制服にしてほしい
- ・富秋中学校までの通学路に対する不安がある

(4) 葛の葉町の就学区域についての考え方

葛の葉町の児童生徒については、小学校入学時から施設一体型義務教育学校の就学区域とするが、アンケート調査結果を踏まえ、小学校入学段階で、現在の選択制の導入が必要になるものとする。

資料11 跡地利用について

(1) 学校跡地の利活用イメージ

【池上小学校】

跡地利用	校舎等は除却し、民間事業者への売却又は貸付を行い、まちに必要な機能を確保。 一部、広場機能、老人集会所用地の確保を検討し、その他、町会館用地として地域への売却検討。
防災機能	確保した広場に防災機能を確保。



【幸小学校】

跡地利用	校舎等は除却し、まちに必要な機能を確保。
防災機能	近接する市営住宅の跡地に都市公園を整備し、防災機能を確保。

※現 旭公園の移転先として、
新たな都市公園を整備
します。

